

開催日時	2025 年 9 月 17 日 (水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第 1 会議室
参加者	市介護福祉課：木津、菊地原、(敬称略) きた包括：松村 ひがし包括：中島 にし包括：久野 みなみ包括：河合 (記録)

議 事 内 容

1. 第一層協議体について

・ 前回の第一層の振り返りからの 3 つの検討事項

①活動参加のきっかけ作り ②活動継続のためのサポート方法 ③人材発掘・育成

①のきっかけについては、活動に参加する・しないを決めるのは本人。やる気スイッチは自分で押すしかない。検討してみますと言ってから動き出すのは半年後、1 年後だったりする。

お元気サミットに参加したい、と言っていただけるような同じ志をもつ協力者を見つけていくかが必要か。

・ 9/30(火)第一層協議体にて、前回から今回までの間の活動報告を各包括 3 分以内で報告を行う。

2. お元気サミットについて

・ 地域デビュー講演会第 2 弾+30 分の個別相談

・ 個別相談ブース：シルバー人材センター、シニア SOHO 小金井、社会福祉協議会、ボランティアセンター

・ 追加のグループ：公民館で活動している男性が多くいるグループに依頼をする

→翁味会 (料理、きた)、写友会 (写真、にし)、東碁会 (将棋、ひがし)、クリスタル (講座、みなみ)

・ 今回地域福祉コーディネーターも参加するため打ち合わせを兼ねて次回 10 月の生活支援 Co 連絡会に参加。  
(当日について)

・ 個別相談ブースの団体から写真データ等をもらい、パワーポイントにして講演開始前に流す。

・ 壁面に個別相談ブース各グループのチラシなど紹介を貼ることは可能

・ 会場マップ (参加団体リストのようなもの) 作成は市で検討

3. 活動報告から

・ きた圏域：サ高住でのスマホ相談会

→アクセスも良くパワーポイントの使用も可能、日曜日開催ができる会場であったが、スマホ研究会が総務省に助成金の申請をしたところ、サ高住は民間企業のため不可との判断があった。今後、助成金を利用せず有料の講座として開催するのか、助成金を活用できる場所に会場を変えるなど仕切り直しをするのか、関係者間で話し合っていく。

・ きた包括：「60 歳からのチーム作り」

→自分の意志で将来を選択していくためにいつか起こるかもしれない認知機能低下に備えるために作られたパンフレット。小金井市で作成したお金の管理啓発講座は高齢期向けでわかりやすいが、高齢期の子ども世代である中年期には本パンフレットの方が活用しやすいか。よくできているが、意外と金融機関に知られていない。

・ みなみ圏域：シニア向け転倒予防筋トレ教室 (貫井南分館)

→先日貫井南分館主催の筋トレ教室について。定員数の倍以上の申し込みがあり盛況だった、参加者年齢は 40 代~80 代でプレシニア層が多かった。

・ みなみ圏域：給湯器詐欺、訪問販売詐欺

→給湯器詐欺が横行しているため民間会社から注意喚起の情報共有があり、みなみ包括 LINE で周知した。他にも、最近でもブレーカーの点検などといって家にあがり情報収集され、後日別業者が訪問販売に来たケースがあった。

4. 応援ブックについて

・ 10 月末締め切り。グループ情報に加え、施設情報についても確認と更新をする。

・ スペースによっては掲載団体 (さくら体操など別チラシ等があるものについて) を再検討する可能性あり。

5. その他

・ 本年度サブスタッフ養成講座の受講者は 11 名。包括についての講座は市と参加者とで調整し、適宜各包括に講座を依頼する。11 月の Co 連絡会にてアナウンスあり。

・ 自分で学んだことを多くの人に伝えたい、どうしたらいいかとう相談について。

→勉強会を主としている団体にまず自分が参加してみよう様子を見るのはどうか。

次回開催予定 生活支援連絡会 2025年10月15日(水)14時～ 於：本町暫定第2会議室にて 以上

開催日時	2025年10月15日(水) 14:00~16:15
開催場所	本町暫定第2会議室
参加者	市介護福祉課：木津、菊地原 きた包括：欠席 ひがし包括：中島(記録)にし包括：久野 みなみ包括：河合 小金井市社会福祉協議会：八下田、田部井、秋山 (敬称略)

議 事 内 容

1.お元気サミットについて

- ・タイムスケジュールと配置図について確認を行う。
- 生活支援コーディネーターは赤いベスト、社協はオレンジ色のベストを着用する予定。
- 看板を壁と机につける等、各ブースがわかりやすいようにする。また、何の団体が来ているのかわかるような資料を準備し、4包括の載ったポストカード(保険証入れに入れる)とともに椅子に置いておく。
- 生活支援コーディネーターが対応するフリースペースのブースも作る。
- 1部終了後、2部にも参加してもらえよう工夫をして、どこかしらとつながってから帰ってもらえるようにする。
- ①生活支援コーディネーターが扉前とブースに分かれて相談を促す。
- ②壁に参加団体の紹介をマグネットで貼る。地域デビューガイドも拡大してカラーで貼りだせると良い。
- ③社協より、ボランティア登録の声掛け行う。
- 生活支援コーディネーターは、デビューガイドをパウチしたものを携帯して案内ができるようにする。
- 現時点での申込者は19名(うち男性11名、女性8名)。50歳以下3名、51~55歳0名、56~60歳2名、61~65歳5名、66~70歳3名、71~75歳5名、76~80歳1名。個別相談の希望は5名、希望無しは11名、その他3名。
- 資料は配架する。社協より、精神保健福祉ボランティア養成講座と居場所づくり講座のチラシを持参予定。
- 応援マップは各包括より20部ずつ持参する。
- お元気サミットについて、事例検討会や小介連での周知も行っていく。
- 会場の電源を3つ確保できるよう、事前に市より確認予定。延長コード使用予定。

2.活動報告から

- ・社協…三光院へ行こう(依存症の会)
- 市外からも当事者3名が参加。運営側が元支援者、当事者の方が多い。依存症だと自分で気付く人は少ないため、家族からの問い合わせが多い。依存症について当事者・家族・支援者関わらずオープンな居場所となっているのは珍しい。また、会場である三光院に行ってみたいという理由で来る方もいる。
- ・みなみ包括…喫茶おのえ
- えいる訪問看護ステーション H 氏の実家である一軒家にて、管理栄養士が作ったメニューのランチができる。月一回の不定期開催。障害児の親の集いの場となっているが、世代関係なく参加して良い。予約が必要であり、オープンにはしていない。
- 裁縫ボラ募集の依頼がある。できたものを売って寄付しているとお話もあり、社協が関われるかどうかについては売上をどうしているか、運営母体はどうなっているかの確認が必要。
- ・みなみ包括…光明第2保育園
- 光明第2保育園より、地域とのつながりが欲しいため、おもちゃを拭いたり一緒に過ごしてくれたりするシニアの方、挨拶活動をしてくださるボランティアを紹介してほしいとの依頼があった。
- 対象となるシニアの方が見つからず、さくら体操や自治会へ呼びかけのためのチラシを作製している。認知面で心配な方はボランティアとして紹介し難い。
- ※ボランティア募集については、一人で抱え込まずまずボラセンと連携しながら、ボランティアセンターでマッチングしてもらうようにする。ボランティア募集依頼書を4包括でもっておけるようにする。
- ・ひがし包括…にこにこプレイス
- えいる訪問看護ステーションににこにこサテライトの事業所を活用し、空きスペースとなっているところを地域の方に開放して有効活用したいとの相談あり。対象世代や何をやっていくかについては、様々な構想があるが、まだ定まっていない。すでに様々なイベントを開催しており、イベントを通して地域のニーズやボランティアの方を募っていく段階である。
- ボランティアセンターに、不登校の子供に無料で麻雀を教えてくれるところの問い合わせがあったとのことで、ニーズとして情報提供を行う予定。
- ・ひがし包括…料理クラブたちばな立ち上げから自立までサービス C 地域ケア会議にて料理クラブの提案あり、

立ち上げから携わってきた。

メンバーの中では、いきいきサロン事業の助成では飲食が対象にならないことに対して不満の声が出ることもあったが、自ら声を挙げたり、メンバーの中で話し合いをしていく中で解決することができている。他の団体で活動をしているメンバーが会計になったメンバーを補佐していることで、ほぼ自主化している。

- ・ひがし包括…東センターの冷暖房設備故障

→冷暖房設備故障のため、9月は東センターが臨時休館となった。東センターだけではなく、南センターでも工事を予定している等、市内の集会施設の老朽化があり、新たな社会資源の確保が必要となってくるのではないかと。コープの2階（階段あり、会員1名は必要）、アプリコ（体操会場として）、ケアサポート湧の空き家スペースがクロズド会場として把握している資源。

社協の「まちの保健室」としての場所を探す際、社会福祉法人の高齢者施設等は受け入れが良かったが、障害・保育分野は防犯の観点や土日のカギの開け閉めの問題が出てくる。

他にマンションの集会室や企業の事務所等が場所として考えられるのではないかと。学校の体育館は年に1回の年間予約となっており、外部の人は予約が取りにくい。

- ・にし包括…ぬく温サロン

→スマホ養成講座にてつながったT氏が「トレーニングビート」を開催し、マラカスを使ったリズム音楽で盛り上がった。参加者が少なくなってきた。リーダーに負担をかけない工夫が必要。

10月はわんわんパトロールのゴールデンレトリバーのころちゃんの参加が予定されている。

### 3.応援ブックについて

- ・各圏域より、応援ブック掲載予定の活動団体の数を報告する。きた包括は後日報告予定。

### 4.CoCoバス再編地域懇談会について

- ・CoCoバスの、きた・ひがし圏域の編成が見直される予定となっている。廃線は何とか回避されそうである。

10/28に地域懇談会が予定されているが、午前中の緑センター開催が4人、午後の東センターでの開催が7人と参加申し込み者が少ない。どうしていけば生活がしやすくなるのかを一緒に考える機会であるため、地域の方へ呼びかけ参加を促す。

### 5.その他

- ・ボランティア保険について

商工会のボランティアポイントを通じてのボランティア保険加入が無料になっているのに対し、社協でボランティア保険に加入すると年度末までの期間で350円の費用が発生する。ボランティア保険の内容は同じであり不公平さがある事、二重で加入している方もいると思われる。介護福祉課内で確認する。

→以下確認後

「商工会に委託しているボランティアポイントは介護人材対策事業費補助金を活用している事業であるため、商工会を通して申し込みをし、介護事業所で活動していただいた方のみにポイント付与するため事業である。

また、他の課でも行っている事業の中でボランティアをしてもらえるように、特典としてボランティア保険の加入費用を市の各事業費から出しているの、実質既にボランティア保険の加入している方もいる可能性はある。市の事業で各課がボランティアをしていただく際には、各課で聞き取りしながら二重加入にならないように行う必要が出てくるとと思われる。」

次回開催予定

生活支援連絡会 2025年11月19日（水）14時～ 於：西庁舎第5会議室にて

以上

令和 7 年度第 7 回 生活支援事業連絡会

開催日時	2025 年 11 月 19 (水) 14:00～16 : 30
開催場所	西庁舎第 5 会議室
参加者	市介護福祉課：木津、菊地原 社協：駒場、八下田 ※敬称略 ひがし包括：中島、にし包括：渕、久野、みなみ包括：河合 きた包括：松村 (記録)

議 事 内 容

1. サブスタッフ養成講座について

- ・第 10 講を 2 層 Co が担当。事業所とも相談のうえ、12 月 4 日、5 日あたりで日程調整してほしい。
- ・テキスト第 11 講のページにあるワークシートの完成まで第 10 講の時間中に対応。
- ・(小金井市の)「世帯と人口」など必要なデータを本日紙媒体で配布。参加者に配布するため、追ってデータが 2 層あて届く。コピーして参加者に配布。
- ・今年度は事業説明会の開催なし。現状、すべての参加者が受講継続中。

2. 応援ブックについて

- ・「さくら体操」についていったんは掲載しない方向であったが、一覧として掲載することとした。また認知症カフェについても掲載なしではなく、認知症担当が作成したチラシをそのまま掲載する方向。
- ・今回のブックでは、圏域ごとでなく、カテゴリーごとに整理して掲載。1 層がカテゴリー別に整理した一覧を別添のとおり紙媒体で配布。今後、印刷所より初稿が届いたのち、各包括では本日配布のリストをもとに校正する。
- ・ページ数がトータルでどうなるか、現時点ではまだ見えてこない。そのため悠友クラブの扱い (これまでどおりとするか、一覧にするか) については未定。
- ・印刷原稿の校正の修正は、修正用フォーマットを送付するのでそこに入力をお願いしたい。

3. 生活支援コーディネーター紹介 (応援ブックに掲載) について

別紙案をもとに意見交換し、以下変更することとした。

①冒頭の 4 行⇒文章でなく、見出しにふさわしく短いコピーとする。生活支援体制整備事業のキャッチコピーを活用する。

(旧) 地域のつながりをもっと身近に 生活支援コーディネーターは  
地域住民のみなさんと、「顔の見える関係づくり」を勧めながら、  
誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援しています。

(新) 生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) と「お互いさまからつながる地域づくり」

②「私たちの活動」部分の修正

- ・支援が必要な方への情報提供・相談支援⇒地域活動についての情報提供・相談対応
- ・地域団体・福祉関係者との連携⇒地域住民・団体・事業所との連携

③「こんな方に関わってほしい」⇒「こんな方とつながりたい」

④「一緒に地域の未来をつくりませんか？」⇒「住民主体のいきがいのあるまちをつくろう」

⑤生活支援コーディネーター配置箇所一覧に、市および各包括公式 LINE の QR コードを追加。

4. その他

①お金の管理講座実施状況

- ・「コスモスⅡ」からの依頼で 1 層が出前講座実施予定 (12/4)。
- ・にし包括は北部長生会で、ひがし包括はコーポくりのみ (高齢者住宅) の月 1 回の懇談会にて、包括からリーフレットをもとに説明。
- ・きた包括では権利擁護センターとの連携により「日常生活支援事業」「成年後見制度の相談先」についての啓発も含め、お金の管理講座を実施予定。1 月は梶野町オレンジカフェにて包括からの説明と権利擁護センターによる出前講座、3 月は緑長生会お誕生会にて、朗読劇上映会、包括からの説明、権利擁護センターによる出前講座という構成。

②移動販売について

- ・2025 年 1 月よりカーメストが移動販売の業者を募集。「たまごクラブ」という昭島の事業所が営業開始、夕方 17 時から 18 時という時間帯。大変人気。
- ・カーメストが住民に対し移動販売開始の告知をしなかったため、「団地内は移動販売禁止ではなかったか？」というクレームが、にし包括に寄せられた。
- ・収益の問題ではなく人材難により、前原町、貫井南町での「とくし丸」は営業終了。
- ・不定期だが、光明第 2 保育園でパリタリーが出店開始。

## ③社協・ボラセンからのイベント・講座紹介および報告など

・ひとり暮らし高齢者会食会について、社協による市からの委託事業であるため、実施内容はすべて社協で準備いただくよう2層より依頼。来年度以降、包括は参加者との交流目的でのみ参加。

## ④小金井新聞：健康寿命延伸についての記事について情報共有

・福祉マルシェ、精神保健福祉ボランティア養成講座ちらし配布。

## 5. お元気サミットについて（振り返り）

## ①最終的な来場者は38名。

・申し込みは39名であったが、当日参加は30名。飛込参加が8名。50名の目標には達しなかった。  
 ・アンケート結果の主な意見として、「個別相談を充実してほしい」「実際に小金井で活動している人の話が聞きたい」などあり。

## ②その他連絡会出席者より

## &lt;良かった点&gt;

- ・講演会参加者のほかに協力者が多数来場されたため、講演会参加が50名を超えるとキャパオーバーだったと思う。
- ・イベントの性質上、当日の飛込参加も受け入れたい。となると定員は50名くらいで申し込みが40名程度というのは、結果的にちょうどよかった。
- ・スライドショーがとてもよくできていた。テーマ曲もイベントの趣旨にぴったりであった。
- ・各参加団体に相談が1～2名程度あった。新規入会につながるケースもありそうだ。

## &lt;改善点&gt;

- ・動線を確保してはいたが、各団体のブースの後ろにまわって掲示物を見る方はいなかった。掲示場所は入口付近など、気兼ねなく見ることができる場所がよかった。
- ・会場が広く、会議室での講演会にくらべ、質問のために手を挙げづらい雰囲気があった。声をあげやすくする工夫が必要だった。
- ・ボランティアに関心のある方が多かったのか、社協・ボラセンカウンターでは、何名か相談の機会を逃した方があった。（参加した職員の数を超えての対応ができなかったため）講演会開始前の時間帯で参加団体紹介をしてもらってれば、その時点で相談に流れてくる方があり、対応ができたかもしれない。

## &lt;来年に向けて&gt;

- ・集客のためのイベント、市内の団体の活動紹介、個別相談のすべてを一度に実施しようと思うと、お元気サミットで生活支援に与えられる時間では足りない。介護予防と一体化した企画ができれば、時間、予算ともに余裕が持てるのではないか。

次回開催予定      生活支援連絡会      2025年12月17日（水）14時～      於:本町暫定第1回議室

開催日時	2025 年 12 月 17 日（水）14:00～16:00
開催場所	本町暫定第 2 会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津、菊地原、（敬称略） きた包括：松村 みなみ包括：河合 ひがし包括：中島 にし包括：久野、湊（記録）

議 事 内 容

1. ケアマネ研修について

- ・ 3 月上旬のケアマネ研修（市・介護福祉課主催）で生活支援 Co に協力依頼がある予定。

2. 応援ブックについて

- ・ 先月渡された資料に修正点あり。（表記を統一したり、男女比等抜けている項目を入れたりなど）本日配布されたものが原本となる。
- ・ 「健康太極拳 小金井桜の会」について、みなみ・ひがし両方の圏域で掲載するが、連絡先はひがし包括で統一する。
- ・ 老人会についてはどのように掲載できるか、印刷業者と要相談となる為、現時点では未定。
- ・ 本日、印刷業者の見積もり合わせになるので、納期が遅れる可能性がある。年内に入稿できれば 1 月第 2～3 週目に第 1 稿が届く見込み。
- ・ 第 1 稿はデータか紙か、印刷業者による。紙の場合は 5 部（市の分と、各圏域分）必要だが対応してもらえるかは要相談。
- ・ 第 1 稿が届いたら、修正箇所をデータ入力して市に提出。入力用のデータは今後送信される予定。
- ・ 第 1 稿チェック後は修正したデータを印刷したものと原本を一旦市に返却すること。
- ・ 応援ブックの内容を今後市・HP に掲載していく予定あり。最終原稿入稿後に内容の修正がある場合は、HP 上で直していくことを考えている。

3. 第 1 層協議体委員について

- ・ 市民枠で第 1 層協議体委員の T 氏（ぬくい温ぬくサロンリーダー）が、体調不良で辞任することになった為、代わりに担っていただける方を検討する必要がある。→推薦リストを参照
- ・ 検討の結果、2 層 Co からは S 氏を推薦することとした。
- ・ 民生委員枠の S 氏も、今後 O 氏に交代することになった。

4. 活動報告から

- ・ みなみ包括より、貫井住宅に住んでいる認知症高齢者（女性）への対応について報告あり。  
→ケアマネがついていて訪問介護、通所介護のサービスも入っているが、管理人室を頻繁に訪れ、管理人が困って自治会の役員に助けを求めたケース。障害のある息子が貫井住宅内で女性とは別に住んでいる。息子は個別ケア会議について「何をやってもどうにもならないのではないかと」と消極的。今後は包括も関わり、貫井住宅の住民の理解を促すため認サポを実施したい考え。
- ・ これまでに本町 2 丁目では、会長から依頼があり認サポを実施したことがある。ただ認サポは 1 時間かかる為、認サポのやり方にこだわらなくてもいいのではないかと。（きた）
- ・ 認知症推進員連絡会では個別の事例についての検討は行わない。
- ・ 実施する場合は認知症推進員と協力してプチ認サポを実施したいと考えている。（みなみ）
- ・ 今回の事例については、包括的・継続的ケアマネジメントとしてケアマネ支援で動くことを考える。（にし）
- ・ 他に、高齢化しているマンションで起きる課題とはどのようなものがあるか？  
→オートロックの操作。本人も訪問する人（配食業者など）も困る状況が起きている。  
→外階段に手すりがないアパートも、対応ができず困っている。
- ・ ネットワーク作りで地域ケア会議に参加したいと思っているケアマネが一部いると聞いている。開催する場合は声をかけると良いと思う。（第 1 層）

① 新しい活動場所について（ひがし包括より）

- 1) にこにこプレイス（えいる訪看のサテライト事務所：東町 5 丁目）1 階スペースの場所貸しを検討。具体的なことはまだ決まっておらず現在構想を練っている段階。
- 2) はげのそら（中町 1 丁目）活動実績があるところのみ受け入れている。HP あり。かなえるハウスはここで継続している。
- 3) ギャラリー WACCA はギャラリーを貸し出しているが、地域活動には使いにくいと思われる。

## 5. 個別課題について

- ・4年程、各包括より課題把握の為に「ちょっとした困りごと」を挙げてもらっていたが、負担が大きいようであれば今後続けるかどうか検討が必要と感じた。(第1層)
  - ・すぐには対応できないが、備忘録としてあってもよいと思う。(みなみ)
  - ・包括全員で情報を集めて、対応方法を考えている。(ひがし)
  - ・出せる範囲で提出している。「ちょっとした」の定義が難しい。(きた)
  - ・書式の対応方法について、書きにくい(にし)：対応できるものがないので、課題となっている。
- そのような場合は空欄で良い。それこそ地域の課題と言える。
- ・意見を挙げることを積み重ねていくことで、市として対応を検討できるので、継続してあげてもらえたらと思う。令和8年度以降も継続していくことにする。(第1層)

※ひがし「おとなりさんカフェ」10周年でT氏がイベントを考えて実施した。包括はゲストとして招かれた。

※さくら体操のリーダーも、養成講座を終了してもそれに専念できる方が減ってきていることを実感している。ボランティアとして活動するという形が少しずつ変化しているようだ。(第1層)

## 次回開催予定

生活支援連絡会 2026年1月21日(水)14時～ 於：本町暫定第2会議室にて

第1層協議体 2026年1月27日(火)14時～

以上